

春を告げる貴重な木 — シデコブシ —

いよいよ陶史の森も春本番の時期となりました。今年の春は、短い冬が過ぎ、早めにやってきました。ソメイヨシノも開花し、「春爛漫」という言葉が見事に当てはまる華やかで艶やかな陶史の森です。そんな中、遊歩道のあちこちに春を告げる貴重な木が花を咲かせます。『シデコブシ』の花です。いち早く春を告げるよう横に広がった冬枯れの枝いっぱいに花を咲かせます。花の色は白や淡いピンク、濃いピンクなど、様々です。大きさは、直径6~11cmと桜の花よりかなり大きく、花びらはヒラヒラしていてガク片と色や形が似ていて区別がつきにくいです。花びらとガク片を合わせて通常12~18枚ぐらいですが、中には30枚以上のものもあります。そのヒラヒラした様子が“玉串”や“しめ縄”に下げる紙「四手(シデ)」に似ているので、『四手辛夷(シデコブシ)』の和名があるようです。

『シデコブシ』は、“生きた化石”とも言われ、大変貴重な植物です。世界中でも自生しているのは、東海地方の岐阜県、愛知県、三重県の湿地やその周辺だけです。近年の環境の変化で自生地が減少したり、枯れたりして“絶滅危惧種”に指定されています。

土岐市は、とても貴重な『シデコブシ』自生地です。是非とも、このまま守り、確実に残していくかなければならないと考えます。



360度の大パノラマ(展望台) 2月21日(金)

[気温 -2℃、天気晴れ]

陶史の森の展望台からは、見事な大パノラマを見る事ができました。下の写真は左が「御嶽山」、右が「白山連峰」です。

展望台からはこの他に「中央アルプス」「恵那山」「御在所」「伊吹山」「金華山・岐阜城」「名駅付近高層ビル群」など遠方にある山々や建物を見る事ができました。

展望台にある大型双眼望遠鏡で見るとより鮮明に見え、感動的な景色です。多くの人がウォーキングを兼ねて展望台へ来て、この絶景を楽しんでいます。晴天で午前10時頃までがながめがよさそうです。



御嶽山



白山連峰

教室のご案内

新型コロナウイルスの予防のために以下の
4月の陶史の森の行事は中止します。

<中止する4月の陶史の森の行事>

- ・ギフチョウの観察会
- ・羊の毛刈り一般公開
- ・バードウォッチング

5月

バードウォッチング（自由参加、雨天中止）

5月24日（日） 午前9時～11時30分
春の野鳥を観察します。

ネイチャーセンターでは、双眼鏡を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。